



こんにちは！ 『ゆうあい net』 です!!

今年度、弱視学級や見えにくさのある幼児児童生徒を担当される先生方、こんにちは！
県立盲学校にある『目の支援センター ゆうあい』です。私達は佐賀県における視覚障害教育のセンターとして、県内の弱視教育のネットワークを作り、研修や情報提供、相談支援などのサポートを行っています。

『ゆうあい net』はそのネットワークの名称であるとともに、毎月様々な情報を発信するこの通信の名称でもあります。この取り組みを通して、先生方と気軽に学び合える環境を整え、幼児児童生徒のより良い成長につなげることができたらと考えております。一年間、よろしくお願いいたします。

今年度の佐賀県内の弱視学級設置校です



「弱視」とは？

さて、弱視学級という言葉にも使われている「弱視」とはどのようなものなのでしょう。

日本弱視斜視学会 (<https://www.jasa-web.jp>) によれば、『医学的には「視力の発達が障害されて起きた低視力」を指し、眼鏡をかけても視力が十分でない場合を指します』とされています。しかし、これは「医学的な」定義であって、教育的な定義とは異なるものです。

たとえば文部科学省は視覚障害を次のように表しています。

「視機能の永続的な低下により、学習や生活に支障がある状態を言います。学習では読字や書字の困難、的確な概念を形成すること、身体の動き等を模倣することの困難等があります。また、生活では、移動の困難、昼夜逆転した生活、周囲の状況把握、相手の意図や感情の変化を読み取る等コミュニケーションの困難等があります。

(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/mext_00801.html)

また、弱視学級の対象者は「拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が困難な程度のもの」(「障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について(通知)」H25.10.4 付け 25 文科初第 756 号) とされています。具体的な視力などは示されていませんが、見えにくさのために、学習や学校生活に様々な配慮を必要とすることは間違いのないと思います。

見えにくさのある児童生徒は、弱視学級に在籍しているとは限りません。また、見えにくさとは視力の問題だけでもありません。見えにくさのある児童生徒たちは、一人ひとり見え方が違い、それぞれの配慮を必要としています。そのために、この「ゆうあい net」で様々な情報などをお知らせしていきたいと考えています。

弱視児の見え方の特徴

『弱視』と呼ばれる見えにくさのある児童生徒たちは次のような見え方の特徴を持っているとされています。

- 1 地図やグラフ、図などの細かい部分は説明や拡大が必要です。
- 2 境界がわかるためには、はっきりとした区切りが必要です。
- 3 遠くのものには特に見えにくいので、何らかの支援が必要です。
- 4 球技のボールの動きや人が走っている姿を認めるのは苦手なので、注意が必要です。
- 5 大きいものを、全体として把握しにくかったり、部分と全体を同時に把握しにくかったりするので、説明が必要です。

細かい部分がわからない



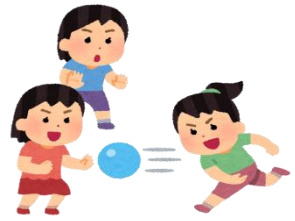
駅はどこ?ごちゃごちゃしてわからない!

遠くのものが見えにくい



誰がどこで話しているのかわからない...

動いているものがよくわからない



どこからボールが来るかわからなくて怖い!

これらに加えて、見える経験（視経験）が不足していることにより、認知力が左右され、学習が遅れてしまうこともあります。また、しっかり見ようとすると（しかも、それが長時間だと）とても疲れてしまいます。そのため、集中力がないとか、ぼーっとしているなどと思われてしまうことがあります。

逆に学校での様子を見ていると、視力が低いはずなのに問題が無いように見えることがあります。慣れた場所や何度も繰り返している活動ではそういうこともあります。学習場面では見えにくいことの影響は決して小さくありません。それを忘れないようにしましょう。

おすすめの書籍

これから役に立つ書籍やウェブサイトなども紹介をしていきます。今回は下記の3冊の書籍です。



「小・中学校における視力の弱い子どもの学習支援 ～ 通常の学級を担当される先生方のために」

香川邦生, 千田耕基、他
教育出版

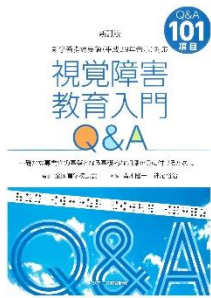
小中学校の通常の学級に在籍する視力の弱い児童生徒について、その理解と支援をまとめた本です。各教科の学習や日常的な支援についても具体的に書かれていますので、まずはこの本から読まれてはどうかと思います。



「視力の弱い子どもの理解と支援」

大川原潔, 香川邦生、他
教育出版

上記の本と姉妹本的な関係にあります。内容的に重なるところもありますが、より広い内容が扱われており、合わせて読むことで、日々の具体的な支援について得られるものは多いと思います。



「視覚障害教育 Q&A」

全国盲学校長会

ジアース教育新社

視覚障害児童生徒の理解から視覚障害教育の基礎、教科指導、重複障害への対応、進路指導等を Q&A 方式でまとめた本です。保護者との対応のあり方や福祉制度や関係団体の紹介等、参考になることも多いと思います。

盲学校からのお知らせ

- ① 『弱視学級等担当者等研修会』のお知らせです。今年度も弱視学級や見えにくさのある子ども達を担当される先生方に集まっていただき、交流を深め、研修などを通して視覚障害教育の実践につなげていただくために、標記の研修会を実施します。

この「ゆうあい net」と前後して文書が届くと思いますが、5月12日(水)の実施予定となっております。年度初めのお忙しい中だと思っておりますが、ぜひご参加ください。

- ② 盲学校では、見えにくさのある児童生徒に関わられる先生方に向けて、『見えにくいを支えるファーストブック』を作成しました。既に学校の方に送付しておりますので、ご活用ください。



日頃の指導で悩まれたり、困られたりしていること、「こういう資料がないか」などがありましたら、お気軽にご連絡ください。

巡回相談の依頼も受け付けています。

佐賀県立盲学校 電話 (0952) 23-4672

代表メール mougakkou@education.saga.jp

FAX (0952) 25-7044

ゆうあい担当 miyata-yoshihiro@education.saga.jp